

〔問1〕二準位系 ($E = -\epsilon, +\epsilon$) の占有数をそれぞれ n_-, n_+ とし、 $N = n_- + n_+$ が非常に大きいとき、イ) ボルツマンの原理からエントロピー S を求めよ。そしてどういう状態が S 最大となるか調べよ。ロ) 次にシャノンのエントロピー $S = -k_B \sum_{i=1,2} P_i \log P_i$ を求め、これについても最大となる条件を求めよ。(ヒント) $P_1 = n_-/N, P_2 = n_+/N$ である。

$S = k_B \log {}_N C_{n_+} = k_B \log \frac{N!}{(N-n_+)! n_+!} \simeq k_B (N \log N - N - (N-n_+) \log(N-n_+) + (N-n_+) - n_+ \log n_+ + n_+)$ であり N が非常に大きく、かつ、 S 最大のを与える n_+ も十分大きいはずなので連続変数とみなすことができ、 $k_B^{-1} \partial S / \partial n_+ = \log(N-n_+) + 1 - \log n_+ - 1 = 0$ より、極値を与えるのは $\frac{N-n_+}{n_+} = 1$ のときで、よって $n_+ = N/2$

次にクロード・シャノンによって定義されたエントロピーでは $S = -k_B \left(\frac{n_+}{N}\right) \log \left(\frac{n_+}{N}\right) - k_B \left(\frac{n_-}{N}\right) \log \left(\frac{n_-}{N}\right) = -k_B \left(\frac{n_+}{N}\right) \log \left(\frac{n_+}{N}\right) - k_B \left(1 - \frac{n_+}{N}\right) \log \left(1 - \frac{n_+}{N}\right)$ であるので、これも微分して $k_B^{-1} \partial S / \partial n_+ = -\left(\frac{1}{N}\right) \log \left(\frac{n_+}{N}\right) - \left(\frac{1}{N}\right) + \left(\frac{1}{N}\right) \log \left(1 - \frac{n_+}{N}\right) + \left(\frac{1}{N}\right) = 0$ の条件は $\left(\frac{N}{n_+}\right) \left(1 - \frac{n_+}{N}\right) = 1$ であるから、ボルツマンの原理から求めた結果と一致する。

〔問2〕量子力学に従うミクロな調和振動子を考え、エネルギーが $E_n = \hbar\omega(n + 1/2)$ である。但し \hbar と ω は正の定数で、 n はゼロまたは正の整数である。この調和振動子が多数集まった系でお互いに相互作用していない場合、一つの振動子あたりの分配関数 Z 、ヘルムホルツの自由エネルギー F 、内部エネルギー E を求め、高温で等分配則が成立することを示せ。ヒント $d \cosh x / dx = \sinh x, d \sinh x / dx = \cosh x, d(\log \sinh x) / dx = \cosh x / \sinh x, \cosh x \simeq 1$ (for $x \rightarrow 0$), $\sinh x \simeq x$ (for $x \rightarrow 0$), $1 + x + x^2 + \dots = \frac{1}{1-x}$ など。

まずただちに $Z = e^{-\hbar\omega/2\beta} + e^{-\hbar\omega(1+1/2)\beta} + e^{-\hbar\omega(2+1/2)\beta} + \dots = e^{-\hbar\omega/2\beta} (1 + X + X^2 + \dots) = e^{-\hbar\omega/2\beta} \frac{1}{1-X} = \frac{\sqrt{X}}{1-X}$ ここで $X = e^{-\hbar\omega\beta}$ である。

よって、 $Z = \frac{1}{\sqrt{1/X} - \sqrt{X}} = \frac{1}{2 \sinh \hbar\omega/2\beta}$ となる。これより、 $F = -k_B T \log Z = k_B T \log 2 + k_B T \log \sinh \hbar\omega/2\beta$ となり、 $S = -F'$ より、

$S = -k_B \log 2 - k_B \log \sinh \hbar\omega/2\beta - k_B T \coth \hbar\omega/2\beta \cdot (-\hbar\omega/2/k_B T^2) = -k_B \log 2 - k_B \log \sinh \hbar\omega/2\beta + \coth \hbar\omega/2\beta \cdot (\hbar\omega/2/T)$ を得る。これを使って、 $E = F + TS = (\hbar\omega/2) \coth \hbar\omega/2\beta$ を得る。

高温の極限 ($\beta \rightarrow 0$) では、 $E \simeq (\hbar\omega/2) \cdot 1/\hbar\omega/2\beta = k_B T$ となり、運動エネルギーとポテンシャルエネルギーにそれぞれ $1/2 k_B T$ ずつ等分配されている。

〔問3〕4準位系 (エネルギー $0, \epsilon, 2\epsilon, 3\epsilon$) で3つの粒子があるとする。イ) 古典統計に従う場合 (= 粒子がお互いに触れ合わない)、ボース統計に従う場合、フェルミ統計に従う場合、の三つに分けて可能な配置と場合の数を図示せよ。ロ) そして集まりやすさの違いを述べよ。(ヒント) 3つとも同じ準位、2つだけ同じ準位、みんなバラバラ、と分けると良い。全部で20通り。

—	—	—	○○○	—	—	○	—	—	○	—	—	○	○○	○○	○○	—	○	○	○
—	—	○○○	—	—	○	—	—	○	—	○○	○○	○○	—	—	○	○	—	○	○
—	○○○	—	—	○	—	—	○○	○○	○○	—	○	—	—	○	—	○	○	—	○
○○○	—	—	—	○○	○○	○○	○	—	—	○	—	—	○	—	—	○	○	○	—

場合の数																			
古典	1	1	1	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	6	6	6	6
F	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1
B	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

フェルミオンは絶対に集まらず、完全にバラバラ。古典粒子はボソンよりもばらばらになる確率が高い。

〔問4〕二次相転移する系においてヘルムホルツの自由エネルギーが $F = x^4 + ax^2$ で与えられる。但し $a = a_0 \cdot (T - T_C)$ であり、 T_C と a_0 は正の定数とする。イ) F の最小値を与える x の温度依存性を求め、グラフ(横軸 T) にせよ。ロ) 次に F が極小値を取るところでの F の曲率 ($= (\partial^2 F / \partial x^2)^{-1}$) を求め、これらもグラフにせよ。余談) 最後のは臨界発散と呼ばれる。

$dF/dx = 4x^3 + 2a_0(T - T_C)x = 0$ より、4次関数の形を思い浮かべれば極小値は、 $T > T_C$ では $x_{\min} = 0$ 、 $T < T_C$ では $x_{\min} = \sqrt{a_0(T_C - T)/2}$
 $F'' = 12x^2 + 2a$ であるので、 $T > T_C$ では $1/F''(0) = 1/2a = 1/2a_0(T - T_C)$ 、一方、
 $T < T_C$ では、 $1/F''(\sqrt{a_0(T_C - T)/2}) = 1/(12 a_0(T_C - T)/2 + 2a_0(T - T_C)) = 1/4a_0(T_C - T)$

〔問5〕相互作用するスピン $S_{iz} = \pm 1/2$ のエネルギーが $E = \sum_{(i,j)} -J S_{iz} S_{jz}$ と与えられる。但し (i,j) は相互作用するペア、 J は正の定数である。ここで変数 S_{iz} を平均値 $\langle S_{iz} \rangle$ で近似すると、 $E = \sum_i -g\mu_B B_{\text{eff}} S_{iz}$ と書ける。但し、 $B_{\text{eff}} = J \langle S_{iz} \rangle z$ であり、また、スピン i と相互作用する周囲のスピン個数を z 個とし、 g と $g\mu_B$ は正の定数である。イ) 一体の分配関数 Z を求め、これを使って $\langle S_{iz} \rangle$ を求め、 $\langle S_{iz} \rangle > 0$ となる条件を示せ。ヒント) 磁化 $M = g\mu_B \langle S_{iz} \rangle = -\partial F / \partial B$ ロ) $\langle S_{iz} \rangle$ が小さい場合の温度依存性を T と T_C のみを使って書け。ヒント) $x \ll 1$ では $\tanh x \approx x - x^3/3$ である(この近似を必ず使え)。

片方のスピン変数 S_{iz} のみを平均値 $\langle S_{iz} \rangle$ で置き換える。 S_{jz} と相互作用しているスピンは z 個であるから $E = \sum_j -J z S_{jz} \langle S_{iz} \rangle$ となる。ここで $Jz \langle S_{iz} \rangle = g\mu_B B_{\text{eff}}$ と置けば、 $E = \sum_j -g\mu_B B_{\text{eff}} S_{jz}$ となって、相互作用のないスピン系の話と等価になる。

よってただちに、 $Z = e^{+1/2 g\mu_B B_{\text{eff}} \beta} + e^{-1/2 g\mu_B B_{\text{eff}} \beta} = 2 \cosh 1/2 g\mu_B B_{\text{eff}} \beta$ を得る。これより $F = -k_B T \log 2 \cosh 1/2 g\mu_B B_{\text{eff}} \beta$ となる。

さらに、熱力学の関係式より、磁化の式 $M = -\partial F / \partial B_{\text{eff}} = k_B T \frac{\sinh 1/2 g\mu_B B_{\text{eff}} \beta}{\cosh 1/2 g\mu_B B_{\text{eff}} \beta} \cdot 1/2 g\mu_B \beta = 1/2 g\mu_B \tanh 1/2 g\mu_B B_{\text{eff}} \beta$ を得る。

ここで磁化は $M = g\mu_B \langle S_{iz} \rangle$ であるから、 $\langle S_{iz} \rangle = 1/2 \tanh \frac{1/2 g\mu_B B_{\text{eff}}}{k_B T}$ を得る。

右辺の B_{eff} を再び元に戻せば、 $\langle S_{iz} \rangle = 1/2 \tanh \frac{1/2 Jz \langle S_{iz} \rangle}{k_B T}$ という式になる。これが $\langle S_{iz} \rangle \neq 0$ の解を持つ条件は、「右辺の原点の勾配 > 1 」であるから、

$$\left[\frac{1/2}{\cosh^2 1/2 Jz \langle S_{iz} \rangle \beta} \cdot 1/2 Jz \beta \right]_{\langle S_{iz} \rangle = 0} = \frac{Jz}{4k_B T} > 1 \text{ を得る。よって } T_C = \frac{Jz}{4k_B} \text{ となる。}$$

次に $\langle S_{iz} \rangle$ が小さい場合と言うのは温度がわずかに T_C より低い状態である。このとき、 $\langle S_{iz} \rangle \approx 1/2 \left(\frac{1/2 Jz \langle S_{iz} \rangle}{k_B T} - \left(\frac{1/2 Jz \langle S_{iz} \rangle}{k_B T} \right)^3 \right) = 1/2 \left(\frac{2T_C \langle S_{iz} \rangle}{T} - \left(\frac{2T_C \langle S_{iz} \rangle}{T} \right)^3 \right)$
 であるから、

$$1 \approx 1/2 \left(\frac{2T_C}{T} - \left(\frac{2T_C}{T} \right)^3 \langle S_{iz} \rangle^2 \right) \text{ となる。よって、} \langle S_{iz} \rangle^2 \approx \frac{2T_C/T - 2}{(2T_C/T)^3} = T^2 \cdot \frac{2T_C - 2T}{8T_C^3} = T^2 \cdot \frac{T_C - T}{4T_C^3} = \frac{T^2}{4T_C^3} \cdot (T_C - T)$$